

英検2級 過去問6回分 分析と添削・最終面談のまとめ

スタスタLIVE英検で、本番前の生徒に渡している資料の見本です。
生徒が提出した過去問6回分のデータから、点の動きを分析し、英作文と要約を1文ずつ添削し、最終面談の内容を本人用と保護者様用にまとめます。

この見本について

Aさん（高校2年生）が、本番の約2週間前までの6週間に過去問を6回提出した記録をもとにしています。実在の生徒の指導記録を、個人が特定できないよう氏名・日付・点数・答案を加工し、英検2級でよくあるつまづきを1つの事例にまとめました。英作文の題と要約の本文テーマは見本用に作成したもので、実際の過去問ではありません。CSEスコアは加工後の素点から算出した参考値です。

指導の流れ



この冊子の構成

ページ	内容	見どころ
2	6回の結果とCSEスコアの推移	合格基準との差を回ごとに見て、「力がついたか」と「回ごとのブレ」を分けて読む
3	どこで点を落としているか	リーディングは大問別、リスニングは部別、ライティングは4観点別に、伸びた所と止まっている所を分ける
4	直すところ4つと当日の見直し	分析から、本番までにやることを4つに絞り、優先順位を付ける
5	英作文の添削 1文ずつ	書いた文ごとに 判定 → 直した文 → 理由。まとめたの指摘だけで終わらせない
6	要約の添削 1文ずつ	本文の事実を事実のまま書けているか、要点を落としていないかを1文ずつ見る
7	最終面談のまとめ（本人用・保護者様用）	同じ面談を、本人には「やること」、保護者様には「様子とお願い」として書き分ける
8	この指導を受けるには	無料カウンセリングから入会後までの流れ、受講の条件、合格保証

大切にしていること

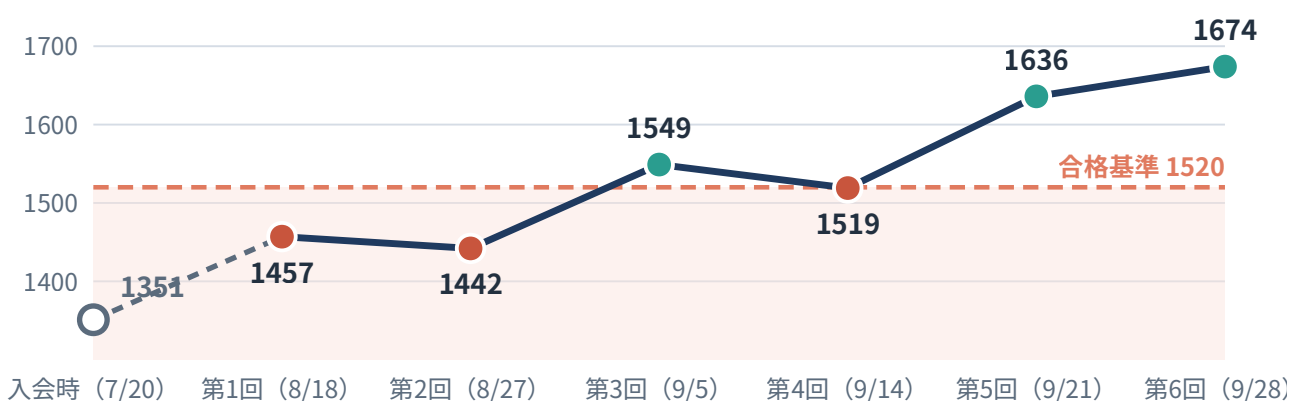
点数を伝えるだけでなく、「なぜその点になったか」を本人が自分の言葉で説明できる状態にすること。データで場所を特定し、答案は1文ずつ直し、面談で本人と一緒に確認します。

6回の結果とCSEスコアの推移

入会時に解いた過去問と、入会後に提出した6回分の素点・CSEスコア（一次）です。網かけは合格基準との差が最も大きい回（緑）と最も小さい回（赤）です。

回	提出日	素点			CSEスコア（技能別）			合計	基準との差
		Reading	Listening	Writing	R	L	W		
入会時	7/20	16 / 31	14 / 30	19 / 32	446	427	478	1351	-169
第1回	8/18	18 / 31	21 / 30	18 / 32	472	520	465	1457	-63
第2回	8/27	18 / 31	18 / 30	20 / 32	472	480	490	1442	-78
第3回	9/5	22 / 31	23 / 30	19 / 32	524	547	478	1549	+29
第4回	9/14	20 / 31	19 / 30	23 / 32	498	493	528	1519	-1
第5回	9/21	22 / 31	24 / 30	25 / 32	524	560	552	1636	+116
第6回	9/28	25 / 31	22 / 30	27 / 32	563	533	578	1674	+154

CSEスコア（一次合計）の推移



この6回から言えること

入会時は基準まで169点足りませんでしたが、6回中3回で合格基準の1520点を超えました。最初の3回は1回だけでしたが、直近の2回は基準を**116点・154点**上回っており、力がついてきたことは数字に出ています。

一方で、第4回は基準まで1点という回もありました。技能ごとに6回で一番低かった点を足すと**1417点**で、基準に103点届きません。一番高かった点どうしを足すと1701点です。悪いほうが重なった日に当たると不合格になりうる、というのが今の位置です。

そこで本番までは「新しいことを増やす」よりも「低い回を出さない」ことを目標にします。どこが回によって動き、どこがずっと低いままなのかを、次のページで分けて見ます。

Reading

素点 18→25 / 31。大問1が10問→15問と伸び、合計を押し上げています。

Listening

入会時14問→平均21問 / 30。回によって6問動きます。第2部の出来が合計を左右しています。

Writing

素点 18→27 / 32。6回で一番伸びた技能です。英作文の内容と構成が上がりました。

どこで点を落としているか

6回分を大問・部・観点ごとに分けると、「回によって動く所」と「ずっと低いままの所」に分かれます。

R リーディング

大問	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	平均
大問1 短文の語句空所補充（17問）	10	11	13	12	14	15	12.5（74%）
大問2 長文の語句空所補充（6問）	3	2	3	3	3	4	3.0（50%）
大問3 長文の内容一致選択（8問）	5	5	6	5	5	6	5.3（67%）
合計（31問）	18	18	22	20	22	25	20.8

大問1は10問から15問へ、6回でほぼ右肩上がりです。毎日の単語学習がそのまま点に出ています。大問2は2〜4問で、6回とも半分前後のまま止まっています。本文は読めているのに、空所の前後が「逆の内容」なのか「例」なのかを決めずに選択肢を見ているのが原因でした。ここが本番までに一番伸ばしやすい所です。

L リスニング

部	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	平均
第1部 会話の内容一致（15問）	12	10	13	11	13	12	11.8（79%）
第2部 文の内容一致（15問）	9	8	10	8	11	10	9.3（62%）
合計（30問）	21	18	23	19	24	22	21.2

第1部は10〜13問で安定しています。第2部は8〜11問と回によって動き、低かった回は、放送の前に選択肢を読み切れていませんでした。聞き取れない問題を増やすより、読む時間を確保する手順を固めます。

W ライティング（4観点・各4点／表の1〜6は回）

英作文	1	2	3	4	5	6	平均
内容	2	2	3	3	3	4	2.8
構成	3	3	3	4	4	4	3.5
語彙	2	2	2	2	3	3	2.3
文法	2	3	2	3	3	3	2.7
合計	9	10	10	12	13	14	11.3

要約	1	2	3	4	5	6	平均
内容	2	3	2	3	3	4	2.8
構成	3	3	2	3	3	3	2.8
語彙	2	2	2	2	3	3	2.3
文法	2	2	3	3	3	3	2.7
合計	9	10	9	11	12	13	10.7

英作文は内容が2点から4点、構成が3点から4点に上がりました。理由を2つ立てて具体例で支える型が身についています。両方に共通して語彙は2〜3点で、good や very important のような中身の伝わらない語が点を止めています。要約は内容の点が2〜4点と動き、要点を落とした回で下がっています。

本番までに直すところは4つ

6回分の分析から、点が動く見込みが大きいものに絞りました。①から順に優先度が高くなっています。

① 1文目で立場をはっきり書く

英作文

6回中4回、1文目が設問の写しでした。I agree that + 設問の言葉、で始めます。

② 理由の2文目に具体例を入れる

英作文

内容の点が伸び悩んだ回は、2文目が1文目の言い換えでした。場面・人・数字のどれかを入れます。

③ 本文の事実を事実のまま書く

要約

Some people say that を付けると意見が変わります。本文の主語と動詞を言い換えて書きます。

④ 空所の前後の関係を先に言葉にする

大問2

6回とも6問中2〜4問。選択肢を見る前に「ここは逆の内容」「ここは例」と日本語で言ってから選びます。

4つを一度にやろうとせず、①から順に1つずつ身につけます。①と③は書く前に決めるだけで直せるので、次の1回で変わります。④は毎回の過去問で、空所ごとに日本語でひとこと書き込んでから選ぶ練習をします。

書き終えたあとの見直し（6項目）

順	対象	見るところ	確認すること
1	英作文	最後の1文	設問の言葉で締めているか
2	英作文	理由の2文目	場面・人・数字のどれかが入っているか
3	英作文	理由1と理由2	別の角度になっているか
4	要約	全体	本文の段落ごとに要点を1つずつ拾えているか
5	要約	本文との照合	5語以上続けて同じ箇所がないか
6	両方	これだけは	these reasons／単数・複数／主語と動詞の一致

くり返し出たミス

書いたもの	正しい形	6回中
× For this reasons	○ For these reasons	英作文 3回
× Some people say that ... (要約で)	○ 本文の事実はそのまま書く	要約 3回
× many experience / some problem	○ 数えられるか・複数形かを確認	両方 4回
× Because ... / And, ... (文頭)	○ 1文の中でつなぐ	英作文 2回
× good / very important	○ helps / is valuable など中身の伝わる語	英作文 5回

同じ表現のくり返しも、語彙の点を下げています

good と very important が6回の英作文で何度も使われていました。1か所でも helps や is valuable のように中身の伝わる語に置き換えると、語彙の観点が変わります。全部を一度に直そうとしなくて大丈夫です。お気に入りの言い換えを2〜3個持っておくことから始めます。

英作文の添削 1文ずつ

○ このままでよい △ 誤りではないが直すと点が上がる × 誤り

第6回 (9/28提出)

14 / 16点

POINTS: Experience / Community / Time

Some people say that high school students should do volunteer work during summer vacation. Do you agree with this opinion?

文	判定	書いた文 → 直した文	ひとつこと
1	△	Some people say that high school students should do volunteer work during summer vacation. → I agree that high school students should do volunteer work during summer vacation.	設問を写しただけで、賛成か反対かが書かれていません。1文目で立場を示します。
2	○	I have two reasons why I think so.	型どおり書けています。
3	×	First, they can get many experience that they cannot get at school. → First, they can have many experiences that they cannot get at school.	many のあとは複数形の experiences にします。
4	×	For example, they can talk with old people and help them at nursing home. → For example, by helping at a nursing home, they can learn how to talk with elderly people.	nursing home には a が必要です。old people は elderly people が丁寧です。
5	×	Second, it is good for community. → Second, volunteer work helps their local community.	community には their が必要です。it と good では中身が伝わりません。
6	×	Because many town in Japan need help of young people for events. → Many local events need more helpers, so support from young people is valuable.	Because だけで1文にはできません。何に人手が要るのかも具体的に書きます。
7	×	So, I think volunteer is very important for students. → In this way, students can support the town where they live.	volunteer は「ボランティアをする人」です。very important だけでは理由になりません。
8	×	For this reasons, I think students should do volunteer. → For these reasons, I believe that high school students should do volunteer work during summer vacation.	this は these に。do volunteer は do volunteer work です。設問の言葉で締めます。

書いた語数 84語 → 直した全文 97語 (目安 80~100語)

直した全文

I agree that high school students should do volunteer work during summer vacation. I have two reasons why I think so. First, they can have many experiences that they cannot get at school. For example, by helping at a nursing home, they can learn how to talk with elderly people. Second, volunteer work helps their local community. Many local events need more helpers, so support from young people is valuable. In this way, students can support the town where they live. For these reasons, I believe that high school students should do volunteer work during summer vacation.

型は同じです。変えたのは、1文目の立場、理由の2文目の具体的な場面、最後の1文の3つです。

要約の添削 1文ずつ

本文と同じ内容になっているか、要点が抜けていないかを中心に見ています。

第6回 (9/28提出) 13 / 16点

本文のテーマ：地域の図書館がカフェを併設することの利点と問題点

文	判定	書いた文 → 直した文	ひとつこと
1	✖	Many libraries is opening cafes in their buildings recently. → These days, more and more libraries have cafes inside them.	libraries は複数なので are。recently はふつう現在完了か過去形と使います。
2	△	This is because people can relax and they can stay longer. → Visitors can relax there, so they tend to stay longer and read more.	要点が足りません。本文の「長く滞在して本を読む」まで入れます。
3	✖	However, there are some problem. → However, there are also some problems.	some のあとは複数形です。
4	△	Some people say that food smell and noise bother other readers. → The smell of food and noise from cafes can disturb other readers.	本文は事実として書いています。Some people say that を付けると意見に変わります。
5	✖	And, it cost a lot of money. → In addition, running a cafe can be expensive for libraries.	And で文を始めません。it のあとは costs。何にお金がかかるかも書きます。

書いた語数 43語 → 直した全文 51語 (目安 45～55語)

直した全文

These days, more and more libraries have cafes inside them. Visitors can relax there, so they tend to stay longer and read more. However, there are also some problems. The smell of food and noise from cafes can disturb other readers. In addition, running a cafe can be expensive for libraries.

本文の3段落から、テーマ・利点・問題点を1つずつ以上拾っています。「長く滞在して本を読む」「においと音」「運営の費用」は、書いた答案では抜けていたり、意見の形になっていたりした要点です。

要約の組み立て

本文	書くこと	つなぐ言葉
1段落目	何の話か（テーマ）を1文で	—
2段落目	利点を1～2つ	so ... / Also, ...
3段落目	問題点を1～2つ	However, ... / In addition, ...

要約は「本文にない意見を足さない」「本文の言葉を5語以上続けて写さない」の2つを守るだけで、内容と語彙の点が安定します。書き終えたら本文と並べて、同じ箇所が続いていないかを指でたどって確認します。

最終面談のまとめ 本人用と保護者様用

本番の約2週間前に、6回分の分析をもとに最終面談を行います。同じ内容を、本人には「やること」として、保護者様には「様子をご家庭へのお願い」として書き分けてお渡しします。

本人用（抜粋）

直近の2回は基準を超えています。あとは低い回を出さないことです。

6回の結果を自分で見て、「大問2は前後の関係を決めずに選んでいた」と気づけたのはとても良かったです。原因を自分の言葉で説明できています。

▼ 大問2 選ぶ前にひとこと書く

空所の前後を読んだら、「逆」「例」「言い換え」のどれかを書いてから選択肢を見ます。

▼ リスニング 放送の前に選択肢を読み切る

第2部は、前の問題の選択肢を見直さずに次へ進み、読む時間を先に取ります。

▼ 英作文 1文目で立場を書く

I agree that + 設問の言葉。最後の1文も設問の言葉で締めます。

▼ 要約 本文の事実は事実のまま

Some people say that は付けません。書いたら本文と並べて見直します。

全部を一度に直そうとしなくて大丈夫です。直したところから点は変わります。

保護者様への報告（抜粋）

いつもお世話になっております。

本日、Aさんと英検2級の最終面談を行いましたので、ご報告いたします。

夏休みから提出してくれた過去問6回分を一緒に振り返りました。最初の3回は合格基準に届かない回もありましたが、直近の2回は基準を100点以上上回っており、毎日の単語学習とライティングの書き直しの積み重ねが、数字にしっかり表れています。

Aさん自身も、点が下がった回の原因を「長文の空所で、前後の関係を決めずに選んでいた」と自分の言葉で説明できていました。本番までの2週間は、新しいことを増やすよりも、この弱点を確実に直すことに絞ります。

部活動の大会と重なる時期ですので、ご家庭でも、前日は早めに休めるようお声がけいただけると心強いです。

本番で力を出し切れるよう、最後まで一緒に取り組んでまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

書き分けのポイント

本人用は、厳しさを突きつけるのではなく「できたこと」と「次にやること」を短く示します。保護者様用は、点数の背景と本人の様子を伝え、ご家庭にお願いしたいことを1つに絞ります。どちらも、その生徒の部活動や苦手分野など、面談で出た具体的な事実を必ず入れます。

本人用		保護者様用
伝えること	本番までにやること（4つ）と、その手順	6回の点の動きと、本人の様子・気づき
分量	A4 1枚。見出しごとに「やること」を1つ	A4 1枚。手紙の形で、です・ます調

この指導を受けるには

スタスタLIVE英検は、英検に特化した1対1のオンライン塾です。入会までの流れと、入会後に何が起こるかをまとめました。

● 入会までと入会後の流れ

- 1 無料カウンセリング**
オンラインで現在地と目標、受験予定を伺います。受講を検討している方向けです。
- 2 合格プラン提案書**
カウンセリングの内容と成績データから、現在地と合格までの逆算プランを資料にてお渡しします。
- 3 入会・担当講師の決定**
希望の曜日・時間帯を伺い、担当講師を決めます。授業は1対1です。
- 4 入会時の過去問**
まず過去問を1回分解き、スタスタAppsで自己採点。ここが出発点の数字になります。
- 5 毎日の報告と授業**
単語学習と「今日の5問」を毎日報告。授業では過去問の分析と添削をもとに進めます。
- 6 本番前の最終面談**
この見本のような分析と添削をもとに、本番までにやることを本人と確認します。

無料カウンセリングについて

オンライン（Zoom）で行います。英検の受講を検討している生徒・保護者様が対象です。未成年の方は保護者様の許可が必要で、できるだけご同席をお願いしています。

カウンセリング後、合格プランの提案書をお渡しします。受講するかどうかは、提案書をご覧になってから大丈夫です。

受講の条件

- ・授業は1対1、オンライン（Zoom または Google Meet）
- ・コースは月4回から月12回まで
- ・受講期間は最短2か月から
- ・塾生専用機能付きのスタスタApps（過去問の自動採点・ライティングのAI採点）を利用
- ・海外在住の方も受講できます

合格保証（プレミアムコース）

月12回のプレミアムコースには合格保証があります。3か月以上の継続受講と、学習課題の実施（提出率9割以上）が条件で、一次試験が不合格の場合は1か月分（12コマ）の授業を無償で提供します。二次試験は対象外です。詳しい条件はサービスと料金のご案内をご覧ください。

● お申し込み・くわしい案内

内容	リンク（クリックすると開きます）
無料カウンセリングのお申し込み	https://apps.studystudio.jp/live-eiken/consultation
サービスと料金のご案内	https://apps.studystudio.jp/live-eiken#live-eiken-pricing

英検は、何をどの順番でやるかが決まれば、点は動きます。このこの事例の生徒のように「入会時は基準まで169点足りない」状態からでも、6回の過去問で何が動き、何が止まっているかを見ながら進めれば、本番までにやることははっきりします。まずはカウンセリングで、今の位置を一緒に確かめるところから始めませんか。